2022年3月22日

新型コロナウイルスに関する職員への注意喚起（第14弾）

新型コロナウイルス対策本部

高齢者施設・障がい者施設への感染拡大を防ぐために 引き続き「基本的な感染防止対策」の徹底を

兵庫県の「まん延防止等重点措置」が3月21日で解除されましたが、感染者数の減少傾向は鈍化しており、第7波の到来が懸念されています。

3回目のワクチン接種も進んでいますが、そうした中でも高齢者施設・障がい者施設でのクラスターが増えています。

オミクロン株は重症化しにくいと言っても、基礎疾患の多い高齢者は重症化する場合があります。そして施設内で感染が拡大してしまうと、職員体制が整わず、他のサービスを休業して対応せざるを得なくなります。

地域で生活されている高齢者・障がい者を支援するのが、私たちの役割と責任です。施設のゲストと在宅のゲストの双方に必要なサービスを届けられるように、感染防止対策を徹底しながら、ゲストを支えていきましょう。

職員の皆さんへのお願い

- 「マスクを外して人と接しない、会話をしない」「飲食時は特に注意」
- 手洗い・うがい・手指消毒の徹底
- 換気の徹底と「3密」（密閉・密集・密接）の回避
- 不要・不急の外出・移動の自粛
- 職員の食事休憩時に、十分な感染対策（仕切り、時間、人数制限等）を実施
- 更衣室でのマスク着用等の感染対策を徹底
- 発熱（平熱より高い場合も）等の体調不良時は出勤せずに、速やかに上司へ連絡
- マスクが必要な場面では、不織布の三層マスクを使用

「感染者が出た場合でも感染を最小限に食い止め、クラスターを発生させない」